

年金トピック

2020年6月26日
団体年金事業部

【確定給付企業年金 基金型】 令和2年3月末財政決算諸数値の集計結果のご報告

令和2年3月末にて財政検証を実施した、当社単独・総幹事受託団体のうち基金型（46団体）の財政決算時点における「時価ベース利回り」、「財政検証（継続基準、再計算の要否、非継続基準）」の集計結果を、速報としてまとめましたのでご報告させていただきます。

企業年金制度の財政運営・代議員会等にあたっての参考資料としてお役立てください。

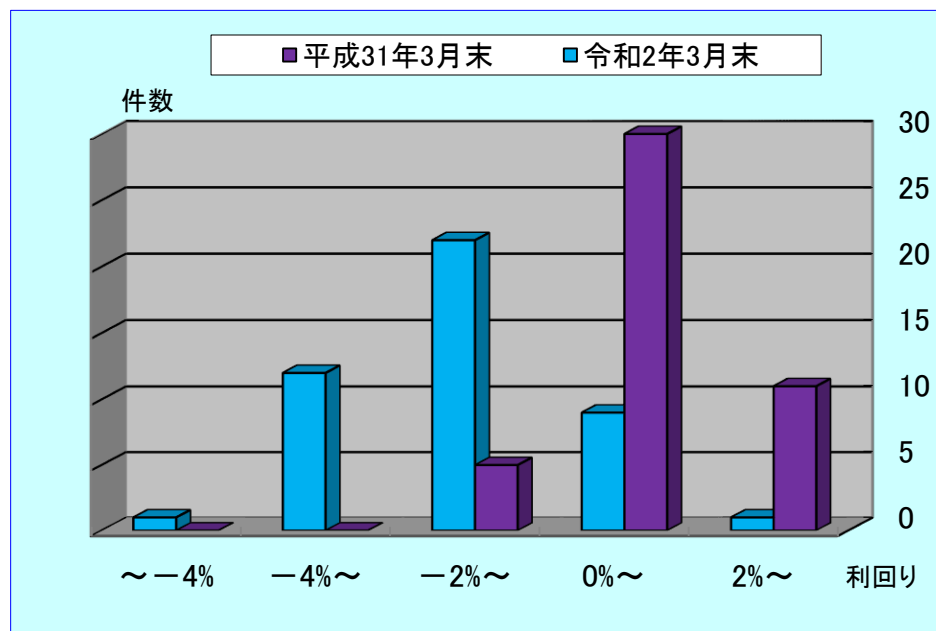
なお、規約型も含めた「令和2年3月末財政決算諸数値」の集計結果につきましては、8月にご報告させていただく予定です。

1. 時価ベース利回り

基金型確定給付企業年金の令和2年3月末の財政決算における時価ベース利回りの水準は以下の通りです。

(単位：件)

	R2.3末	H31.3末
4%以上	0	0
2%以上4%未満	1	11
0%以上2%未満	9	30
-2%以上0%未満	23	5
-4%以上-2%未満	12	0
-4%未満	1	0
合計	46	46
平均	-1.08%	1.27%



【ポイント】

- 令和2年3月末での基金型確定給付企業年金の時価ベース利回りの平均は-1.08%となりました。
- 昨年度と比較して2.35%の低下となりました。

2. 継続基準による財政検証と再計算要否の結果

基金型確定給付企業年金の令和2年3月末の財政決算における財政検証（継続基準・再計算の要否）の結果は以下の通りです。

(1) 純資産額／責任準備金 (＝継続基準の積立水準)

(単位：件)

	R2.3末	H31.3末
1.2以上	18	22
1.1以上1.2未満	10	13
1.0以上1.1未満	15	10
0.9以上1.0未満	2	1
0.8以上0.9未満	1	0
0.8未満	0	0
合計	46	46
平均	1.20	1.23

(2) (数理上資産額＋許容繰越不足金)／責任準備金 (＝再計算の要否の積立水準)

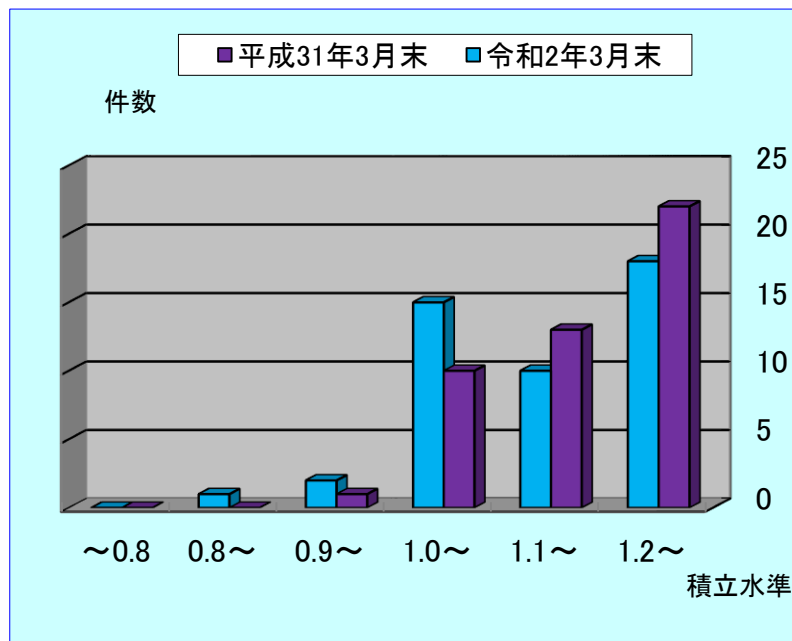
(単位：件)

	R2.3末	H31.3末
1.4以上	14	15
1.3以上1.4未満	6	7
1.2以上1.3未満	12	15
1.1以上1.2未満	11	7
1.0以上1.1未満	3	2
1.0未満	0	0
合計	46	46
平均	1.31	1.35

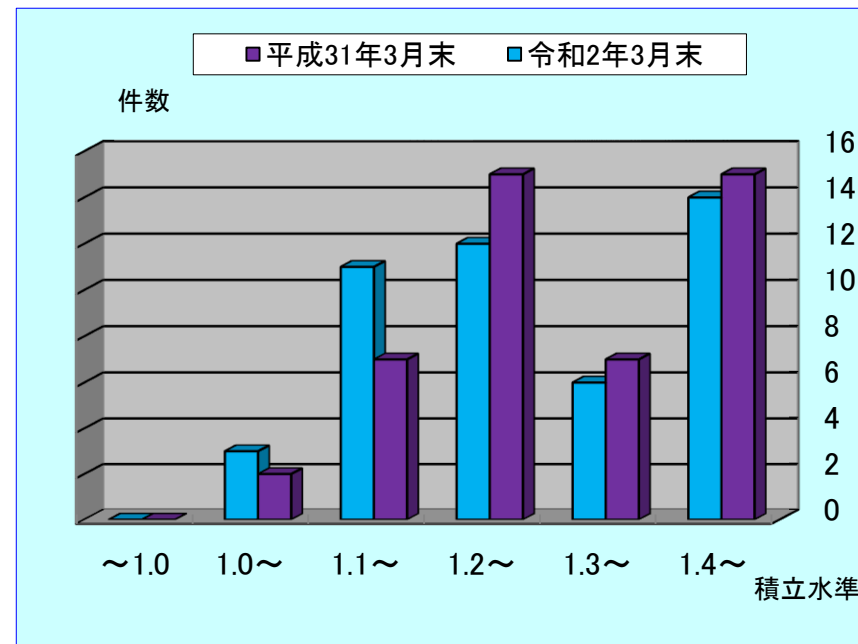
【ポイント】

- 許容繰越不足金を含めた積立水準が1.0を下回ると、強制的に再計算を行い、繰越不足金を解消する必要がありますが、令和2年3月末で再計算が必要となった基金型団体はありませんでした。
- 令和2年3月末での基金型確定給付企業年金の継続基準の積立水準の平均は1.20、再計算の要否の積立水準の平均は1.31となり、昨年度と比較して、それぞれ0.03、0.04ポイントの減少となりました。

(1) 純資産額／責任準備金
(＝継続基準の積立水準)



(2) (数理上資産額＋許容繰越不足金)／責任準備金
(＝再計算の要否の積立水準)

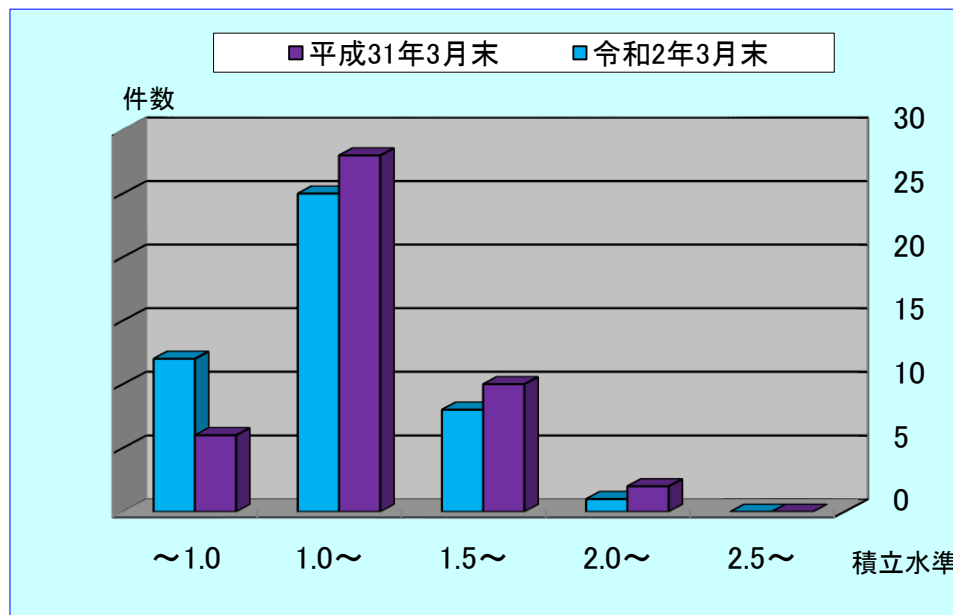


3. 非継続基準による財政検証結果

基金型確定給付企業年金の令和2年3月末の財政決算における財政検証（非継続基準）の結果は以下の通りです。

(単位：件)

	R2.3末	H31.3末
2.5以上	0	0
2.0以上2.5未満	1	2
1.5以上2.0未満	8	10
1.0以上1.5未満	25	28
1.0未満	12	6
合計	46	46
平均	1.24	1.31



【ポイント】

- 積立水準が1.0を下回ることが非継続基準に抵触する判定基準となります。ただし、1.0を下回っても「当事業年度の積立水準が0.9以上」かつ「直前3事業年度のうち2事業年度の積立水準が1.00以上」の場合は非継続基準の財政検証はクリアとなります。
- 令和2年3月末での基金型確定給付企業年金の非継続基準の積立水準の平均は1.24となり、昨年度と比較して0.07ポイントの減少となりました。